

「全国学力・学習状況調査」の結果について

4月17日（火）に中学3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校の結果をお伝えするとともに、課題と今後の取組についてお知らせします。

1 学力調査について

(1) 調査結果

国語A・数学A（基礎知識を問う問題）、国語B・数学B（知識の活用力を見る問題）、理科（基礎知識と一部活用力を見る問題）のすべてにおいて、全国・県平均を上回りました。

(2) 課題と今後の取組

国語課題	対 策
○文章の内容を整理して適切にまとめていく力をつける必要がある。 ○グラフや表などの資料と文章との関係を考えながら、内容を捉えることが弱い。	○説明文の学習において、段落を要約する場面を増やす。 ○グラフや表がどんな効果をもたらしているのかを意識させる授業を展開する。
数学課題	対 策
○具体的な事象を関数として捉え、2つの数量関係を整理することが苦手である。 ○実生活の具体的な事象から、基準量・比較量・割合を整理することが苦手である。	○数量の関係性を意識させた授業を行い、理解できるようにする。 ○実生活の具体的な場面で、数学として捉えさせることを意識し、問題解決を図る。
理科課題	対 策
○実験の場面での条件決めをすることが苦手である。 ○空間を理解したり、イラストから想像して答えを導くことが苦手である。	○実験方法の流れから、実験から分かることを考える時間をつくる。 ○実生活と関連付けて、理科の現象を理解し、説明する場面をつくる。

2 生徒質問紙について

《調査結果》

- 「自分には良いところがある」という自尊心の高いことが、「人の役に立つ人間になりたい」という生徒の割合が100%になった要因でもあると考える。
- 地域の人・こと・ものにふれる機会が多く、地域の行事への参加も割合が極めて高く、地域と関わりを持って生活していることがうかがえる。反面「地域や社会を良くするためには何をすべきかを考えることがある」には割合が低く課題である。
- 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見るか」の質問では、『見る』の割合が100%で、社会の動向に関心を持っていることがわかる。
- 学校の授業時間以外に読書をする時間は、全国・県と比べ下回っているが、学校の授業時間以外に勉強する時間は、全国・県と比べ上回っている。学校以外の時間で読書の時間を確保するには難しい状況がある。

3 家庭へのお願い

以下のことにつきまして、家庭でのご協力をよろしく申し上げます。

- 1 規則正しい生活（特に睡眠）をする！
- 2 テレビやDVDの視聴時間を2時間までにする！
- 3 家庭学習をしっかりする（2時間）！
- 4 家庭での読書習慣を身につける！